情報ビジネス 学科 2年課程 2年課程 2 年

担当公司												
投資内容	1											
学習目標   ネットマーケティングの連用担当をとしての実践的な技術習得を目指す。   使用テネスト   投票計画	)ける。											
使用テキスト												
対比エンテーション・前期のよりか入り・LINE公式アカウントとは?   2												
オリエンテーション・前期のよりかえり・LINE公式アカウントとは?   大阪ナーマ店の売い出し・リビートに課題がありそうな造とは?・前期から総核か物質が検討 ※既にLINE公式アカウントを持っていると望ましい   以此公式アカウントの開設・協能画を知る												
2 実践テーマ店の売い出し・リビートに課題がありそうな店とは?・前席から起妹か新規か検討 ※既にLINE公式アカウントを持っていると望ましい 3 UNE公式アカウントの開設・機能画を知る 4 実践テーマ店の研究①・リビートに繋がらない理由を検討する課題の音伝) 5 実践テーマ店へのセヤリング・検験 ※校外学習・お友だら追加方法のレクテャー・課題、KPIの決定 6 実践テーマ店への授業内容の検討(企画) 8 実践テーマ店への授業内容の検討(企画) 9 実践テーマ店へのグレゼンテーション ※安外学習 10 UNE公式アカウントの実践① 11 LINE公式アカウントの実践② 12 中間の効果検証・再実施 13 効果検証・提り返り資料作成 14 実践テーマ店への報告 ※校外学習 15 設料検索 オキョネコ 15 表検点果物免表 オキョネコ 15 記述他の呼吸・規能内に近、協会や正常の意味 16 に対していると望ましい。一 17 日本 2 日本												
3	1 オリエンテーション・前期のふりかえり・LINE公式アカウントとは?											
4 実践テーマ店の研究①・リピートに繋がらない理由を検討する(課題の仮設)  5 実践テーマ店へのヒヤリング・体験 ※校外学習・お友だら追加方法のレクテヤー・議様、KPIの決定  6 実践テーマ店への世来内容の検討(企画)  8 実践テーマ店への提案資料作成  9 実践テーマ店へのガレゼンテーション ※校外学習  10 LINE公式アカウントの実践①  11 LINE公式アカウントの実践②  12 中間の効果検証・再実践  13 効果検証・振り返り変料作成  14 実践テーマ店への報告 ※校外学習  15 最終成果物発表  新形面形成合 原田 甲 平 日 甲 平 日 甲 平 日 甲 平 日 甲 平 日 甲 平 日 甲 平 日 四 平 日 回 平 日 回 平 日 回 平 日 回 平 日 回 平 日 回 平 日 回 平 日 回 平 日 回 平 日 回 平 日 回 回 平 日 回 回 平 日 回 回 回 回	2 実践テーマ店の洗い出し・リピートに課題がありそうな店とは?・前期から継続か新規か検討 ※既にLINE公式アカウントを持っていると望ましい											
1	LINE公式アカウントの開設・機能面を知る											
6 実践テーマ店への投案内容の検討(企画)  8 実践テーマ店への投案資料作成  9 実践テーマ店へのプレゼンテーション ※校外学習  10 UNE公式アカウントの実践①  11 UNE公式アカウントの実践②  12 中間の効果検証・再実践  13 効果検証・振失践  14 実践テーマ店への報告 ※校外学習  15 素結成果物発表  『原項目/指令 単近物の内容、期間内提出、協商作業等の資材  1. 課 題 40 96 単近物の内容、期間内提出、協商作業等の資材  2. 授業姿勢 30 96 地ボ車・受講てナー・層き力、資訊・母室  3. テストその他 30 96 最際及業物免表、学習及果然がレポート	実践テーマ店の研究①・リピートに繋がらない理由を検討する(課題の仮説)											
実践テーマ店への提案資料作成     実践テーマ店へのガレゼンテーション ※校外学習     UNE公式アカウントの実践①     UNE公式アカウントの実践②     中間の効果検証・再実践     お妻検証・振り返り資料作成     接続アーマ店への報告 ※校外学習     接続展集物発表     おり返り資料作成     は 実践テーマ店への報告 ※校外学習     は 実践テーマ店への報告 ※校外学習     は 実践・エース店への報告 ※校外学習     は まままままままままままままままままままままままままままままままま	5 実践テーマ店へのヒヤリング・体験 <u>※校外学習</u> ・お友だち追加方法のレクチャー・課題、KPIの決定											
8 実践テーマ店への授業資料作成  9 実践テーマ店へのプレゼンテーション ※校外学習  10 LINE公式アカウントの実践①  11 LINE公式アカウントの実践②  12 中間の効果検証・再実践  13 効果検証・振り返り資料作成  14 実践テーマ店への報告 ※校外学習  15 最終成果物発表  Pは専門・報合 洋 伯 内 春  1. 課 題 40 96 提出物の内容、規則内提出、協働作業物の貢献  2. 授業姿勢 30 96 出席率、受請マナー、関き方、資間・発言  3. テストその他 30 96 無紙成果物発表、子宮成果設括レポート	6 実践テーマ研究②・課題解決のための打ち手を検討											
9 実践テーマ店へのプレゼンテーション ※校外学習  10 UNE公式アカウントの実践①  11 UNE公式アカウントの実践②  12 中間の効果検証・再実践  13 効果検証・振り返り資料作成  14 実践テーマ店への報告 ※校外学習  15 最終成果物発表  「お 店 内 等  「お 店 内 等  1. 課 題 40 % 提出物の内容、期間内提出、協働作業時の貢献  2. 授業姿勢 30 % 出席率、受賞マナー、酬き方、質問・免害  基準  3. テストその他 30 % 最終成果物表表、学習成果物系表、学習成果物括レポート	実践テーマ店への提案内容の検討(企画)											
10 LINE公式アカウントの実践①  11 LINE公式アカウントの実践②  12 中間の効果検証・再実践  13 効果検証・振り返り資料作成  14 実践テーマ店への報告 ※校外学習  15 最終成果物発表  ド個項目/羽合  1. 課 題 40 % 提出物の内容、期限内提出、協動作業時の貢献  2. 授業姿勢 30 % 出席率、受済マナー、関き方、質問・発音 基準  3. テストその他 30 % 最終成果物免表、学習成果総括レポート												
11 LINE公式アカウントの実践②  12 中間の効果検証・再実践  13 効果検証・振り返り資料作成  14 実践テーマ店への報告 ※校外学習  15 最終成果物発表  - 評価項目/割合 - 評価 内 容  1. 課 題 40 % - 提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献  2. 授業姿勢 30 % 出席率、受講マナー、聞き方、質問・免言  3. テストその他 30 % 最終成果物発表、学習成果総括レポート	実践テーマ店へのプレゼンテーション ※校外学習											
12 中間の効果検証・再実践												
13 効果検証・振り返り資料作成												
14 実践テーマ店への報告 ※校外学習												
15 最終成果物発表												
評価 基準       1. 課題 40 % 提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献         2. 授業姿勢 30 % 出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言         3. テストその他 30 % 最終成果物発表、学習成果総括レポート												
1. 課 題     40 %     提出物の内容、期限内提出、協働作業時の貢献       2. 授業姿勢     30 %     出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言       3. テストその他     30 %     最終成果物発表、学習成果総括レポート												
評価       2. 授業姿勢       30 %       出席率、受講マナー、聞き方、質問・発言         基準       3. テストその他       30 %       最終成果物発表、学習成果総括レポート												
基 準 3. テストその他 30 % 最終成果物発表、学習成果総括レポート												
理題・テスト(その他給定など)けそれぞれ200k以上と  培業次勢け300kとする	3. テストその他 30 % 最終成果物発表、学習成果総括レポート											
price   / ハー、といにはたたらと / はというの人上とし、1又木女子は500 70と y で。												
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他												

情報ビジネス 学科 2年課程 2年課程 2

科目名		マーケティング II A (WEBマーケティング)								学期	前	期	
担当教	<b></b>	清瀬 稜太		科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	自由選択	単位数	_	1	_
学習目	目的	WEBマーケティング σ	)概要から代表	 長的な手法ま	でを学び、ク	・ ライアントの課題	ー 題解決に向けた提案	案力を身につ	ける。				
授業区	内容	様々なWEBマーケティ	イング手法を、	実例やツー	 ルを用いて学	 <sup>2</sup> 習する。							
学習目	]標	クライアントの課題に	対する解決力	法を考え、伝		 是案できる。							
使用テ	キスト	 なし											
週数	授業計画												
1	WEBマ-	Bマーケティングとは?											
2	WEBマ-	Bマーケティングの目標とターゲット設定について											
3	WEBサイ	<b>仆への集客について</b> (	① WEB広告										
4	WEBサイ	<b>什への集客について</b>	2 SEO										
5	WEBサイ	イトの効果を測定しよう	Google Ana	llytics)									
6	プレゼン	/資料の作成について											
7	Bit Web	サイトの改善提案を作	■る 資料作成	1(グループ)									
8	Bit Web	サイトの改善提案を作	■る 資料作成	2(グループ)									
9	Bit Web	サイトの改善提案を作	≅る 資料作成	3(グループ)									
10	教室内	での発表(グループ)											
11	Bit Web	サイトの改善提案を作	■る 資料作成	1(個人)									
12	Bit Web	サイトの改善提案を作	≅る 資料作成	2(個人)									
13	教室内	での仮発表											
14	仮発表を	を受けての資料改善											
15	本発表												
		評価項目/割合						評価内容					
	1. 課	題 30 %		提出物									
評		業姿勢 30 %		出席率・積極的	りなコミュニケージ	ションが出来る							
評 価 基 準				発表									
	3. テストその他 40 %												
					-								
目標検 定•課外													
定•課外   授業実   施予定•	外部関係	外部関係部署との調整により授業内容が前後することがあります											
その他													

情報ビジネス 2年課程 2年課程 2

科目名		データ・ビジュアライゼーション 🏾	ΑI					学期	前	期		
担当	教員	清瀬 稜太	科目区分 専門	授業方法	演習	履修分類	自由選択	単位数	1			
学習目的 情報整理力・可視化力・伝達力を高めるためにデータの可視化スキルを習得する、BIツールの操作を習得する												
授業	内容	全15コマを通じて、Looker Studi	io の基本操作から応用	目的な可視化・井	<b>に見れませる とこれ という という という という という という という という という という</b>	重のプロセス	を学びます。					
学習	目標	受講者が自らデータを分析・可	現化し、意思決定に役立	こつダッシュボー	ードを構築できる	ようになるこ	とを目指しま	す。				
使用テ	使用テキストなし											
週数				授美	<b>業計画</b>							
1	Looker Studioとは~アカウント設定 & 環境準備											
2	レポート作成の基本操作											
3	データ可視化の基礎 : グラフと表											
4	データソースの拡張: 複数データの連携											
5	フィルタ	やパラメータの活用										
6	計算フィ	ィールド & カスタム指標の作成										
7	レイアウト・デザインの最適化											
8	共同編集・共有設定											
9	パフォーマンス最適化											
10	ダッシュボード作成ヒアリング ※学校のsnsアカウントやデータソースをヒアリングし、発表に向けて準備を進める											
11	グルーフ	プワーク:ダッシュボード制作										
12	グルー	プワーク:ダッシュボード制作										
13	グルー	プワーク:ダッシュボード制作										
14	仕上げ	& プレゼン準備										
15	発表会											
		評価項目/割合				評価内容						
	1. 課	題 30 %	提出物の内容、期限内提出、	協働作業時の貢献								
   評   価	2. 授	業姿勢 30%	出席率、受講マナー、聞き方、	質問·発言								
評価基準	3. テ	ストその他 40 %	最終成果物発表、学習成果総	括レポート								
	課題・テ		授業姿勢は30%とする。									
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他	外部関係	部署との調整により授業内容が前後するこの	とがあります									

情報ビジネス 学科 2年課程 2 年

科目	名	Photoshop•illustrator <b>I</b> I A							学期	前	期	
担当	教員	未定	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数	-	1	
学習	目的	Photoshop及びIllustratorの基本	操作と基礎	楚知識の習得	<u>⊒</u>							
授業[	内容	Photoshop/Illustratorの基本操作	作を学び、「	コゴ・チラシ・	パネルなどの	実践を想定した制	作を行う					
学習	目標	Photoshop及びIllustratorの役割	を理解し、	Illustratorの	基礎知識を理	解、基本操作がて	ごきるように	なること				
使用テ	キスト	未定										
週数	授業計画											
1	授業の導入 ソフトインストールや基本操作説明、adobeチュートリアル											
2	2 adobeチュートリアル実施による基本操作習得											
3	adobeチュートリアル実施による基本操作習得											
4	ロゴ制作課題の説明と導入											
5	ロゴ制化	作課題										
6	ロゴ制作課題											
7	ロゴ制作課題発表と講評											
8	ロゴ制化	作課題修正										
9	まちなか	<b>\事業企画①</b>										
10	まちなか	<b>\事業企画②</b>										
11	まちなか	<b>\事業企画③</b>										
12	まちなか	<b>\事業企画④</b>										
13	まちなか	<b>\事業企画</b> ⑤										
14	まちなか	∿事業企画発表、講評、フィードバッ	ク									
15	学習のル	ふりかえり										
	2. 授業	<b>美姿勢</b> 30 %	①欠席•遅刻か	がないか ②受講	マナーが良好か ③	クラスの授業に協力的	か、④授業中に	こ良く聞き、メモ、	質問、発言な	ど自ら工夫し積極的		
评価基準		トその他 20 %	授業内の課題	成果で評価。								
	課題・テスト	〜(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授	業姿勢は30%と	 する。								
.外授業実施	授業の進	捗度・理解度等により、授業実施順番、内容	そ変更する場合	合があります。								

情報ビジネス 学科 2年課程 2年課程 2

科目	名	Photoshop•illustrator II B							学期	後	期	
担当	<b>教員</b>	未定	科目区分	専門	授業方法	演習	分類	選択必修	単位数		1	
学習	目的	Photoshop及びIllustratorの基本操	作と基礎知	識の習得、Ac	dobe認定プロフェ	ニッショナルに相当	する知識・ス	スキル習得				
授業[	授業内容後期はPhotoshopを中心にアドビ認定アソシエイト資格取得相当の内容、IllustratorとPhotoshopを活用した課題制作											
学習	目標	Photoshopの基礎知識を理解、	基本操作が	できるように	こなること、Illust	rator&Photosho	pの連携を	理解する				
使用テ	キスト	未定										
週数					授第	<b>禁計画</b>						
1	授業の導入 ソ Photoshop基本操作説明、adobeチュートリアル											
2	adobeチュートリアル実施による基本操作習得											
3	adobeチュートリアル実施による基本操作習得											
4	adobeチ	ュートリアル実施による基本操作習	'得									
5	adobeチ	・ュートリアル実施による基本操作習	<sup>1</sup> 得									
6	写真を依	使ったパネル製作①										
7	写真を使ったパネル製作②											
8	写真を依	使ったパネル製作③										
9	チラシ・	パネル製作課題の説明と導入										
10	チラシ・パネル製作											
11	チラシ・	パネル製作										
12	チラシ・	パネル製作										
13	チラシ・	パネル製作										
14	チラシ・	パネル発表、講評、フィードバック										
15	学習のふりかえり											
		評価項目/割合				į	評価内容					
	1. 課	題 50 %	最終課題の出	来栄えと発表内	容で評価、学生らか	らも評価を募り評価に	反映する。					
評価	2. 授				マナーが良好か ③以上の観点から評価	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	的か、④授業中	に良く聞き、メモ	、質問、発言	など自ら工夫し積極	ー 的に授業に参加して	
評価基準	3. テ		授業内の課題									
	課題·テ	スト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、	授業姿勢は30%	らとする。								
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他	授業の進	捗度・理解度等により、授業実施順番、内容	₹を変更する場合	合があります。								